

令和3年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

飼料生産組織として地域の農地を守り飼料を安定供給

○氏名又は名称 有限会社 あぐりサービス（代表 小島 誉久）

○所在地 愛知県知多郡東浦町

○出品財 経営（稲 WCS、飼料用米、稲 WCS 収穫受託）

○受賞理由

・地域の概要

東浦町は、愛知県の知多半島北東部に位置し、農地は丘陵地で小区画ほ場が多い。知多地域では名古屋市近郊の立地と温暖な気候条件を活かし、野菜、果樹、花き、畜産が発展している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

地域の農地を守る飼料生産組織として、66ha の借地で主に飼料作物を栽培・販売するとともに、県内稲 WCS 栽培面積の3割にあたる50haの収穫作業を広域に受託し、契約する耕種農家は400以上になる。生産した飼料は牛、豚、鶏と幅広く利用され、糞尿は堆肥として農地に還元されており、耕畜連携の要となっている。

・受賞者の特色

（1）多様な作物・品種栽培で作業の効率化と適期収穫

小区画ほ場が分散しており、作業条件は恵まれていないが、播種期や収穫期の異なる作物や品種を計画的に栽培することや、省力的な栽培技術の積極的な導入により、効率的な機械の稼働、労働配分、適期収穫を実現している。

（2）畜産ニーズに応じて高品質で低コストな飼料を供給

酪農家の要望を受けて始めた飼料用とうもろこし栽培や、収穫時のチェックリスト作成、トレーサビリティ体制の構築など、畜産側のニーズや信頼に答えている。飼料の栄養価当たりの価格を比較すると、稲 WCS が輸入乾草の7割、飼料用米は輸入配合飼料の半分以下と低コストな飼料を供給している。

（3）女性の活躍

従業員6名のうち3名が女性で、2人は大型特殊免許を取得して、男性従業員と同様に作業を行っている。また、1人は630筆の借地契約などの事務作業を担っており、女性従業員は法人になくてはならない存在となっている。

・普及性と今後の発展方向

土地、人材、技術を活用して経営的にも安定した飼料生産組織の優良事例である。担い手不足の耕種農家に代わって飼料生産を行うことは、地域の耕作放棄地の拡大防止や安定的な国産飼料生産の観点から求められており、今後もその発展をめざす。